

2020 年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	阿部浩己
演習テーマ	国境, 国籍, 平和の構想
校外実習	1、実施しない 2、○実施 (実施時期: 2020 年 9 月 or 2020 年 2 月)
メール・アドレス	abekohki@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	木曜日 4 限(事前にメールで予約を入れてください。)
2021 年度に開講しない可能性 (在外研究・特別研究)	なし。
授業概要	二つの軸を設けて授業を進めていきます。一つ目の軸は「国境/国籍」です。国境や国籍が人間あるいは平和にとって、どのような意味をもつものなのかを思索します。難民の保護・支援といった営みについても批判的考察を加えます。二つ目は「平和の構想」です。国際社会による援助や介入といったものがもたらす世界の現実に接近し、平和をどう構想できるかについて考えます。以上の二つの軸に沿って文献購読と討論を進めながら、受講生の皆さんには、年度末のレポート提出に向けて、テーマの設定・リサーチ・研究報告などに従事してもらいます。
学習目標	(1) 国籍/国境, 難民の保護・支援にかかる批判的な視座の構築。 (2) 平和と和解に関する批判的な視座の構築。 (3) 文書(レポート)作成や口頭発表などを通じて自己を表現し、他者(世界)と関わる姿勢を深めること。
授業計画	(2A) 【第 1 回】 導入・オリエンテーション 【第 2 回】 文献講読と討論 【第 3 回】 文献講読と討論 【第 4 回】 文献講読と討論 【第 5 回】 文献講読と討論 【第 6 回】 文献講読と討論 【第 7 回】 文献講読と討論 【第 8 回】 文献講読と討論 【第 9 回】 研究報告と討論 1 【第 10 回】 研究報告と討論 2 【第 11 回】 研究報告と討論 3 【第 12 回】 研究報告と討論 4 【第 13 回】 研究報告と討論 5 【第 14 回】 研究報告と討論 6 【第 15 回】 まとめ (2B) 【第 1 回】 文献講読と討論

	<p>【第 2 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 3 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 4 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 5 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 6 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 7 回】 文献講読と討論</p> <p>【第 8 回】 研究報告と討論 1</p> <p>【第 9 回】 研究報告と討論 2</p> <p>【第 10 回】 研究報告と討論 3</p> <p>【第 11 回】 研究報告と討論 4</p> <p>【第 12 回】 研究報告と討論 5</p> <p>【第 13 回】 研究報告と討論 6</p> <p>【第 14 回】 研究報告と討論 7</p> <p>【第 15 回】 まとめ</p>
予習	毎回、指示するので、最低でも 2 時間程度の自習時間を設けてください。
復習	毎回、指示するので、最低でも 2 時間程度の自習時間を設けてください。
授業に関する注意事項	本をちゃんと読み、人の話を聴き、自分の考えをまとめ、文章を書くこと。社会に関心をもつこと。そうした心構えを大切にして授業に臨んでください。
教科書	開講時までに指示します。
参考書	ジョセフ・カレンズ『不法移民はいつ<不法>でなくなるのか』(白水社, 2017 年)
成績評価の基準	授業への積極的参加(研究報告を含む。)50% 学年末レポート 50%
関連 URL	
備考	